

# 行動面

資料1-②

- ・『同学年の生徒と比較してどうか』をポイントにチェックしてください。
- ・答えられる項目にだけ答えてください。
- ・指導者が生徒理解を深め指導の一助とするためのものです。

月	日	限	教員名

生徒名	年	組	番

行動面において、項目以外に気になることがあれば記入してください

項目		ときどきある	よくある	
多動・衝動性	1	手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする		
	2	じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する		
	3	過度にしゃべる		
	4	順番を待つのが難しい(質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう)		
	5	他の人がしていることをさえぎったり、じゃましたりする		
不注意	6	面と向かって話しかけられているのに、聞いていないようにみえる		
	7	学習課題や活動に必要な物をなくしてしまう		
	8	気が散りやすく、集中できない		
対人関係やこだわり	9	「自分だけの知識世界」を持っている		
	10	含みある言葉や嫌みを言われても分からず、言葉通り受けとめてしまう		
	11	会話の仕方が独特である		
	12	周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うってしまう		
	13	自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる		
14	独特な表情や姿勢をしている			

## 対応のヒント

- 学習環境を整える。(掲示物の整理、ゴミ等散乱していないか)
- 授業前半は一斉授業、後半は個別に取り組めるように工夫する。
- 「読む」「操作する」「考える」「書く」などの学習活動を10分程度の短い単位で構成する。
- 「手を挙げて発表する」などの約束ごとの習慣化をはかる。
- 立ち歩きそうな時に、窓を開ける、プリントを配る、黒板を消すなどの活動をさせる。

- 片づける場所を固定化する。
- ロッカーの使い方の模範を示す。

- 不適切な言動をしている場面で指導するよりも、機会をつくって、場に応じた適切な話し方や行動について説明する。
- 指導する場合は、否定的な表現をせず、本人が受け止めやすい表現で、教師が適切な言動のモデルを示す。